

【研究概要】

大腸腫瘍に対する内視鏡治療困難症例に対して、腹腔鏡下腸切除術よりもさらに低侵襲で、必要のない腸切除を回避するための根治的な手術手技を確立するため、腹腔鏡・内視鏡合同結腸楔状切除術の安全性を評価する。